

大牟田市立玉川小学校

1 本校のESDの特徴

本校区は、大牟田市の南東部に位置し、周りを緑に囲まれたとても自然豊かなところである。昔から農業（稲作が中心）が盛んな地域であり、江戸時代には天領地として米を納めていた由緒ある地域でもある。現在も農家が多く、いろいろな農作物が栽培されている。

本校における ESD の取組は、学校教育目標の「豊かな心で、自ら学び、明るく健康的な子どもの育成」を受け、本校区の特徴である自然豊かな環境を利用して、その目標を「将来にわたって、持続可能な社会を構築するために、一人一人の児童が『食』が人や環境と深いつながりがあることを知り、『食』を大切に作る心情を育てる」と設定した。

そこで、食の大切さとふるさとのよさに気付き、ふるさと玉川に誇りをもつ児童を育成するために、玉川ならではの特産物を学びの対象とするとともに、地域の方々とのつながりを各学年ごとに意図的に仕組み、地域の特産物の栽培や収穫、調理体験、地域へのお礼（手紙やもち配り）などを共に行っている。

また、地域の方への感謝と畏敬の念をもつために、共に汗を流す本格的な体験活動を行い、農業名人ならではの長年の知恵と技術を肌で感じたり、伝統芸能を伝承していかうとする熱い思いに触れたりしている。

さらに、ふるさとのよさに誇りがもてるよう、学習したことを学習発表会だけでなく、櫛野祭、玉川どんと祭といった地域行事の中でも発表することで、玉川ならではのよさを再確認するとともに発信して続けていくことを大切にしている。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

- (1) 1年生 「ひとつぶのたねから」（さつまいもの栽培）
- (2) 2年生 「ぐんぐんのびろ」（野菜やさつまいもの栽培）
- (3) 3年生 「玉川探検隊」（地域の農産物を知る）
- (4) 4年生 「地域の特産物を使って、いろいろなものを作ろう」
「諏訪川探検隊」（地域の農作物のおいしさの秘密）
- (5) 5年生 「米作りに挑戦しよう」（米作り関連）
- (6) 6年生 「玉川の自然にふれよう」（野草学習、郷土学習）

3 特徴的な活動事例の紹介



5年生の取組

総合的な学習の時間

単元名「米作りに挑戦しよう」

(1) 目標

- ① 年間を通して地域の方々と一緒に米作りに携わることを通して玉川の自然の素晴らしさや米作りの大変さを身をもって感じるとともに、季節ごとの米の表情の変化や収穫の喜びを実感することができる。
- ② 地域の伝統芸能「玉川米はかり踊り」を踊ったり、収穫した米を地域に配ったりする活動を通して、地域全体が昔から米作りを大切にしてきたことに気付き、地域に誇りを持ち、地域の今やこれからについて考え、貢献したいという思いを持つことができる。

(2) 具体的実践

【課題設定】 玉川校区の産業について考えよう

- ① 4年生までの食育を通じた学習を振り返り、自然豊かで、食べ物がたくさんとれることに気付く。
- ② 6年生からの話や社会科の学習から、学習課題を設定する。

【活動ステージⅠ】 地域の方々と一緒に田植えに挑戦しよう。

- ① 米作りの行程について詳しく学習する。

- ・社会科の学習
 - ・インターネットや本
 - ・地域の方へインタビュー
- ②調べたことや地域の方のアドバイスをもとに、実際に田植えに挑戦する。
- ・福祉餅つきで使うもち米に成長することを意識し、友だちと協力して丁寧に植える。
- ③観察を続け、観察ノートを作成する。
- ・地域の方へのインタビュー（水の管理、草取り）
 - ・稲の成長の観察日記



【活動ステージⅡ】 地域の方々と一緒に稲刈りに挑戦しよう。

- ①調べたことや地域の方のアドバイスをもとに、実際に稲刈りに挑戦する。
- ・鎌の使い方を教えていただき、稲刈りを行う。
 - ・乾燥させるために、はざ掛けをする。
- ②「米はかり踊り」について学習し、実際に踊る。
- ・「玉川校区米はかり踊り保存会」の方から、踊りに込められた思いを聞き、踊りの基礎を学ぶ。
 - ・6年生から細かい動きについて教えてもらう。
 - ・学習発表会で米作りの取り組みや伝統として受け継いできた「米はかり踊り」を披露する。



【行動・発信・ふり返り】

地域の方々にもち米をプレゼントしよう

- ①自分たちが育てたもち米を地域の方にプレゼントする計画を立てる。
- ・GTに来ていただき、もち米と一緒に配る絵手紙を作る。
- ②地域在住の独居高齢者の方に、手紙を添えてもち配りを行う。
- ・地域ごとに民生委員さんと一軒一軒回って手渡す。
- ③学習を振り返るとともに、地域行事などを通して、これまでの取組や「米はかり踊り」を地域に発信する。



(3) 児童の感想から

- ・玉川校区でつくられお米がとてもおいしいことがわかりました。
- ・地域でとれたお米を家で食べてみましたが、とても美味しかったです。
- ・地域の皆さんが笑顔でお米を受け取ってくださったのでとてもうれしかったです。
- ・「玉川米はかり踊り」に込められた思いが分かりました。

4 本年度の成果と課題

○成果

- ・地域の方の多大な協力で、他の地域ではできない本格的な体験を伴った学習ができ、子ども達の興味や関心が持続することができた。
- ・地域の伝統文化である「米はかり踊り」の継承を通して、地域をより大切にしていこうとする意識が芽生えてきた。

○課題

- ・本来なら櫛野祭や玉川どんと祭などの地域行事で「米はかり踊り」を発信する計画であったが、コロナ禍でそれらの行事が実施されず、発信の場を工夫すること
- ・地域のゲストティーチャーの高齢化に伴う、継続的な実施体制の確保
- ・取組を継続的に発信していくための地域コミュニティとの連携強化